

学校だより

あいかわ なかはら



令和7年 11月10日（月）

愛川町立愛川中原中学校

愛川町角田210

Tel 046 (286) 2710

発行責任者 中村 慎輔

後期開始、「学び」は校外へと広がる次の段階へ進みます。

校長 中村 慎輔

10月18日(土)、「創立40周年記念紫陽祭」が行われました。合唱コンクール、吹奏楽部演奏、文化部や教科の展示発表と盛りだくさんでとても内容の濃い充実した一日となりました。合唱コンクールでは、各学級の本気の合唱を聞かせてもらいました。3年生の学年合唱「カイト」はものすごい迫力で、さすが3年生という歌声でした。保護者の皆様には多くの方にご来校いただきましてありがとうございました。また、PTA本部役員はじめ、各委員会役員さん、そして、NSC(中原サポーターズクラブ)の皆様には、朝のあいさつ運動に始まり、受付係、展示発表パトロール、駐車場誘導係、PTA合唱参加、そして、後片付けまで、本当に一日お世話になりました。本校の学校規模でこれだけの大きな行事ができるのは、皆様の協力があってこそです。心より感謝申し上げます。

人は何かに本気になって取り組むと、本気になればなるほど、ぶつかる場面も出てきます。そうした時に、相手の立場を思いやりながら言葉を尽くして互いを理解し合うことが大切です。紫陽祭でみなさんが聞かせてくれた合唱は、合唱の背後にある各クラスで繰り広げられたであろう様々なドラマが想像できて、涙がこぼれそうになりました。これまでの取り組みの集大成となる素晴らしい合唱を聞かせてくれました。これこそが、「学校」という場で学ぶことの意義だと思います。紫陽祭での有意義な学びを単なる「思い出」として終わらせるのではなく、次の学びへつなげていってほしいと思います。

1年生は校外学習、2年生は職場体験と、学びが学校の外へと広がっていきます。これまでの学びが次の段階へと進みます。学校での学びをぜひ校外でも活かしていきましょう。

3年生は、本格的に進路に向かう時期となりました。各自が自分の将来と向き合う時です。人生には何度か、本気で自分と向き合わなければならない時があります。将来自分はどうなりたいのか、そのために来春からどういう生活を送るのか。自分から逃げることなく、自分をごまかすことなく、正々堂々と自分と向き合ってください。進路選択は決して孤独な取り組みではありません。進路は個々に違っても、同じ悩みを共有できる友だち、クラスメイトがいます。素敵な合唱を作り上げたのと同じように、進路についても、互いに支え合い、励まし合いながら、乗り越えてもらいたいと思います。

後期に入り、これから学校での学びは校外へと広がっていくわけですが、中学生にとって、地域でのボランティア活動は、教室とはまた違った多くの大切なことを学ぶ貴重な機会となります。例年本校生徒も各区の夏祭りや盆踊り、小学校行事のお手伝い、介護施設等での交流など、様々な形で参加させてもらっています。中学生が地域貢献活動を通じて、地元の方々と触れ合いながら、運営等に関わることで、外からではわからなかったことが見えてきて、スマホやPCでは味わえない貴重なリアル体験ができます。こうした体験を通じて、さらに郷土に愛着を持ったり、地域社会の一員としての自覚を持ったりして、地域の課題について当事者意識を持って考え行動できるようになることで、公共の精神や社会性を育みます。また、多様な世代の人々と関わることで、コミュニケーション能力や協調性が向上します。さらに、誰かの役に立つ喜びや、感謝される経験を通して自己肯定感を高め、思いやりの心を深めることができます。地域の皆様、保護者の皆様へ。今月から、愛川中原中学校では、生徒が地域のボランティア活動等に参加したことを記録するスタンプカード『未来をひらく！アクション・ログ』を生徒に持たせました。本校生徒が地域活動に参加した際にこのカードを持参することがあると思います。「中学生が地域のために頑張ってくれたなあ。」と思われましたら、ぜひこのカードにハンコやサインをしてあげてください。皆様から頂いた記録が生徒の自己肯定感や自己有用感、そして自信につながってくれることを願っています。

紫陽祭を終えて

紫陽祭お疲れさまでした！愛川中原中学校 40 周年にふさわしい素敵な紫陽祭となりました。紫陽祭では、これまでに各クラスで一生懸命に練習した合唱を披露しました。どのクラスも、クラスの絆を強く感じる合唱で鳥肌が立ちました。

また、展示部門では、日頃の授業の成果を見て、昨年度は私もこの授業を受けたなと懐かしさを感じたり、素敵な作品に驚いたりしました。この紫陽祭を通して、どのクラスも団結が深まったと思います。開会式、閉会式の劇も笑顔で見てくれてありがとうございました！みなさんのおかげで最高の紫陽祭となりました。本当にありがとうございました。

紫陽祭実行委員長

10月18日（土）、第40回文化発表会 紫陽祭 が開催されました。今年度のスローガンである「奏造紫陽～輝く笑顔、一つの歌声～」のもと、各クラス自分たちだけの「歌声」を目指して取り組みました。当日は、各学年の合唱コンクール、3学年の学年合唱、教科で作成した作品の展示、など各クラス取り組みに加え、吹奏楽部や美術部・PC部の部活動の発表等が行われ、一人ひとりが輝く素晴らしい一日となったと思います。また、PTA 合唱では、保護者のみなさま・地域のみなさま・教職員、そして生徒と一緒に「糸」を歌い、とても心温まる時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

生徒のみなさん、みんなで奏で造りあげた紫陽祭、多くの笑顔や泣き顔を見られました。ただ一つの歌声を創りあげることの難しさやできたときの楽しさや喜びを感じることができたのではないかと思います。紫陽祭で学んだことをこれからの日々で活かし、力を伸ばしていきましょう！

文化的行事担当職員



学習室ブロック交流会を終えて

10月22日に中原中学区の学習室に所属する小中学生が集まって行う、「ブロック交流会」という行事がありました。各学校が考えてきたお店屋さんの店員さん役やお客さん役を行い、交流を深める行事となりました。

準備から当日の説明を全て生徒たちで行い、お客さんとして楽しそうに過ごしたり、店員さんとして丁寧に説明したりしていました。生徒にとってはこれらの活動を通して、役割を全うすることや先輩としての姿について考える機会となったのではないかと思います。

学習室職員



PTA 家庭教育学級を終えて

10月22日に PTA 主催の家庭教育学級が行われました。今年度は講師に吉井奈々さんをお招きして「幸せの多様性」をテーマに講演会を行っていただきました。

生徒含め参加した人たちは学校の先生とはまた違った視点である演者の方の話を聞いて、自分にとっての幸せやそれに向けての考え方などを知る機会となったことかと思えます。今回の話が生徒にとって、いつか何かに困ったり辛くなったりした時の、支えの一助となれることを願っています。

PTA 担当職員



月の掲示物 学習室作成

※愛川中原中学校のホームページの『愛川中原中学校 BLOG』を、随時更新しています。
ぜひ、ご一読ください。ブログは、右の二次元コードから入ることができます。二次元コード⇒

